

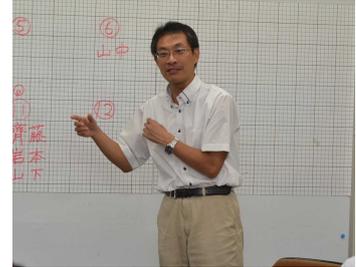
平成29年度 政策づくり塾 第5回活動報告

第5回(9月13日)は、前回未発表者の提案を聞いた後、今後取り組んでいく「地域公共活動」を決定しました。その後、3つの活動ごとに分かれ、グループワークを行いました。

地域公共活動・プロジェクトの第1歩がスタート!!

◎地域公共活動を進めていくに当たってのポイント【政策づくり塾 窪田塾長から】

- ◆必要性を整理(活動によって地域の問題・課題が解決する、まちの賑わいづくりなど)。
- ◆目的や手段を明確にし、チーム内で共有。
- ◆舞鶴市や他自治体の先進事例や既存の取り組みを把握。
- ◆関係団体への協力要請(机の上での議論を行動に移して外へ広げる)。



第6期生「地域公共活動」の決定

各塾生が提案した地域公共活動について、各自が是非実施したいと感じた提案に投票を行い、第6期政策づくり塾として取り組む活動を決定しました。

提案名	メンバー名(◎:リーダー、○:サブリーダー)
Let's Enjoy PAPA!!～お父さんを楽しもう～	◎山本、○塩見、岸田
みんなで作ろう、舞鶴名産ガチャ!!	◎山中、○長岡、土田、池嶋
舞鶴自慢ふおとグランプリ	◎吉岡、○齊藤、千坂、岩本、山下

グループワーク・発表

各グループに分かれ、リーダーの選出、活動の目的や内容等について検討を行いました。

Let's Enjoy PAPA!!～お父さんを楽しもう～

《目的》

- ◆お父さんと子どもがより近くで触れ合える機会を作るとともに、お父さん同士が交流し、悩み相談ができる機会を作る。(子どもとの接し方、お母さんへの対応など)
- ◆お父さんならではのダイナミックな遊び等を学ぶ機会を作る。

みんなで作ろう、舞鶴名産ガチャ!!

《目的》

- ◆舞鶴の名産品をモチーフとした手作りおもちゃを作製。観光施設等にガチャガチャ設置し、楽しんでもらいながら舞鶴の名産をPRする。
- ◆ガチャガチャの中身は、舞鶴の名産品の所以などを学びながら作るワークショップを開催し作製。参加者に舞鶴の名産について再認識してもらう。

舞鶴自慢ふおとグランプリ

《目的》

- ◆SNSを活用して、舞鶴に関する写真を使ってコンテストを実施。コンテストを通じて舞鶴の魅力を発信し、市内外にPRするとともに、市民にも再認識してもらう。
- ◆写真を撮る人自身にも舞鶴を知ろうとするきっかけづくりをする。

今回から、地域公共活動の実践に向け、本格的な議論が始まりました。初回のグループワークから活発な意見交換ができ、今後の活動が楽しみとなるスタートが切れました。

企画の実現に向け、活動に当たってのポイントに留意しながら、各グループで議論し検討を進めていきたいと思えます。



第6回活動

10月6日(金)18:15～20:15 舞鶴市役所 612会議室
内容:「ミニ講座、グループワークほか」